

「第15回 愛媛県勤労者定期観測調査」報告書 (2018年11月調査)

2019年3月26日

【はじめに】

一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会では、愛媛県内勤労者の福祉を推進するための基礎資料を得ることを目的に、県内勤労者を対象にした景況調査を実施しています。当報告書では、2018年11月に実施した「第15回調査」の結果を報告します。調査にご協力いただいた加盟団体・事業所の方々にお礼申し上げます。

【調査概要】

- ① 調査名称：愛媛県勤労者定期観測調査（略称：愛媛県勤労者短観）
- ② 調査対象：一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会に登録する99団体・事業所の勤労者
- ③ 調査項目：勤労者の景況感、仕事の現状、暮らし向き等
- ④ 調査実施期間：年2回5月・11月、第15回調査2018年11月1日～11月30日
- ⑤ 回答数：第15回調査登録者数：451名、回答者数：340名、有効回答数：336
- ⑥ 調査方法：質問票によるアンケート調査（郵送調査法）

【主な調査結果概要・総括】

1. 業況 前回調査（2018年5月）と比較して、経営状況DIは大幅に下落し（11.5ポイント下落）、勤労者が捉える県内の景況感は悪化した。経営状況DIを業種別で見ると、製造業のDIが調査開始以来最も下げ幅が大きく（33.2ポイント下落）、規模別（従業員数別）で見ると、大規模企業や中堅企業のDIの下げ幅が大きかった（1000人以上で16.0ポイント下落、100～999人で15.4ポイント下落）。（問1）
2. 賃金収入 前回調査と比較して、賃金収入DIはやや低下した（3.9ポイント低下）。業種別では製造業のDIが比較的高い値であるものの、下げ幅が大きかった（10.2ポイント下落）。（問4）
3. 総括 今回の第15回調査（2018年11月）では、愛媛県内勤労者の景況感の大幅な悪化が、特に、業種別では製造業、規模別では大規模企業や中堅企業での景況感の悪化が目立った。回答者から得られた「勤め先の経営状況」についての判断理由を整理すると、売上、利益、設備投資、従業員数の変化が上位に並んだ。調査期間に県内の景況が悪化したと判断する。すでに後退局面に入った可能性もあり、今後の県内景況の変化に注視したい。

第15回 愛媛県勤労者短観調査 回答者属性

アンケート有効回答数	336
------------	-----

性別	人	%
男性	250	74.4
女性	86	25.6

年齢構成	人	%
20歳代	38	11.3
30歳代	98	29.2
40歳代	113	33.6
50歳代	75	22.3
60歳以上	12	3.6

家族構成	人	%
1..あなた(①)	55	16.4
2..あなた/親(①④)	34	10.1
3..あなた/親/その他(兄弟)(①④⑤)	4	1.2
4..あなた/子ども(①③)	11	3.3
5..あなた/子ども/親(①③④)	1	0.3
6..夫婦(①②)	35	10.4
7..夫婦/子ども(①②③)	172	51.2
8..夫婦/親(①②④)	8	2.4
9..夫婦/子ども/親(①②③④)	15	4.5
10..その他(それ以外の組み合わせ)	1	0.3

居住地	人	%
東予	126	37.5
中予	158	47.0
南予	46	13.7
その他	6	1.8

勤務地	人	%
東予	135	40.2
中予	152	45.2
南予	48	14.3
その他	1	0.3

勤続年数	人	%
5年未満	35	10.4
5年以上15年未満	128	38.1
15年以上25年未満	78	23.2
25年以上	95	28.3

勤続年数	
平均(年)	17.0
中央値	15
最頻値	10

従業員数	人	%
9人以下	23	6.8
10~49人	12	3.6
50~99人	21	6.3
100~499人	57	17.0
500~999人	98	29.2
1000人以上	125	37.2

業種	人	%
民間製造業	126	37.5
民間非製造業	170	50.6
公務員	17	5.1
その他(医療、福祉団体等)	23	6.8

就業形態	人	%
正規	307	91.4
非正規	29	8.6

労働時間	人	%
20時間未満	7	2.1
20~30時間未満	15	4.5
30~40時間未満	60	17.9
40時間	39	11.6
41~50時間未満	146	43.5
50~60時間未満	43	12.8
60時間以上	26	7.7

年収	人	%
200万円未満	21	6.3
200万円~400万円未満	87	25.9
400~600万円未満	131	39.0
600~800万円未満	74	22.0
800万円以上	23	6.8

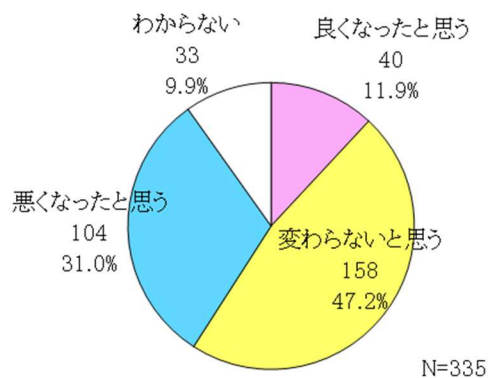
世帯の就労状況	人	%
あなただけが働いている	128	38.1
あなた以外に、フルタイム就労者あり	116	34.5
あなた以外に、パートタイム就労者あり	74	22.0
あなた以外に、フルタイム・パートタイム就労者あり	18	5.4

〔調査結果〕

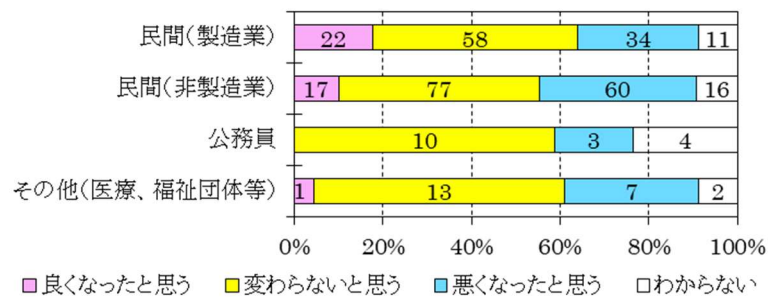
1. 勤め先の経営状況

「勤め先の経営状況」については、前回調査結果と比較して、「良くなったと思う」の割合が減少し、「悪くなったと思う」の割合が増加した。その結果、経営状況DIは大幅に下落した（11.5ポイント下落）。業種別で見ると、製造業のDIが調査開始以来、最も下げ幅が大きかったのに対し（33.2ポイント下落）、非製造業のDIは若干上昇した（3.3ポイント上昇）。規模別（従業員数別）で見ると、規模が大きい事業所のDIの下げ幅が大きかった（100～999人で15.4ポイント下落、1000人以上で16.0ポイント下落）。

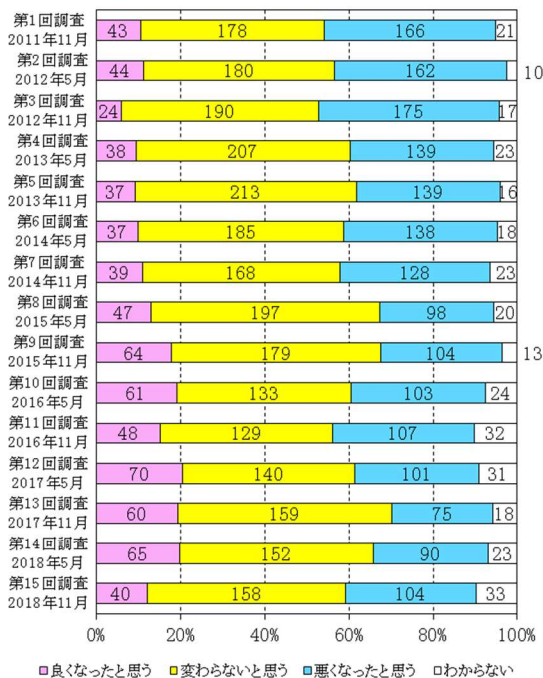
問1 勤め先の現在の経営状況
（1年前と比べて）



業種別にみた勤め先の経営状況(1年前と比べて)

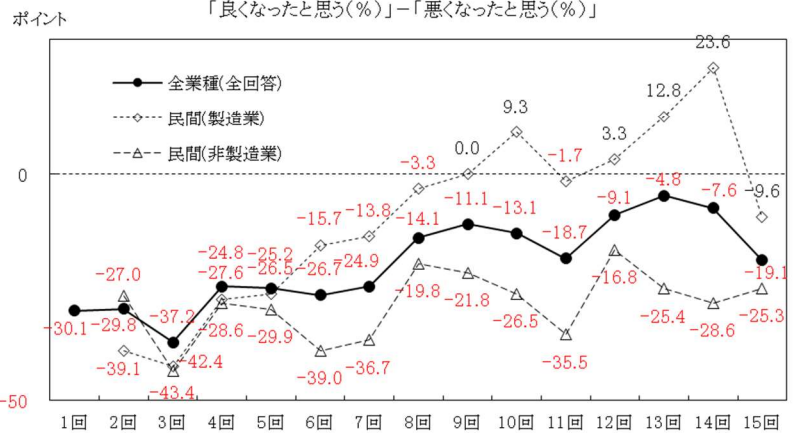


問1 勤め先の現在の経営状況(1年前と比べて)



業種別経営状況DI

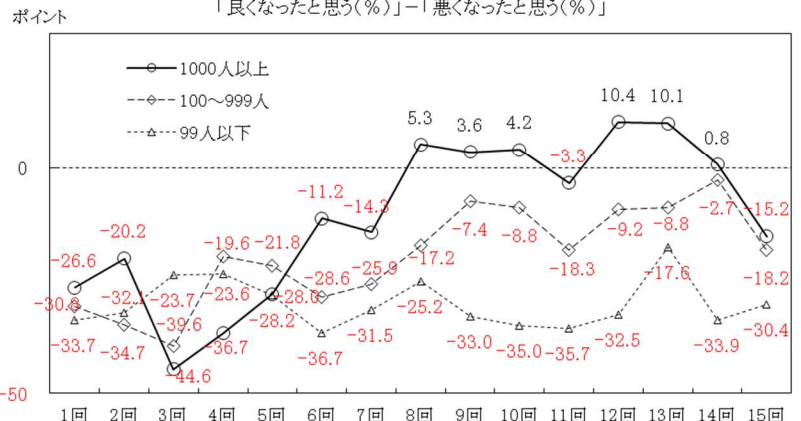
「良くなったと思う(%)」-「悪くなったと思う(%)」



(注)全業種は、民間(製造業)、民間(非製造業)、公務員、その他(医療、福祉団体等)からなる。

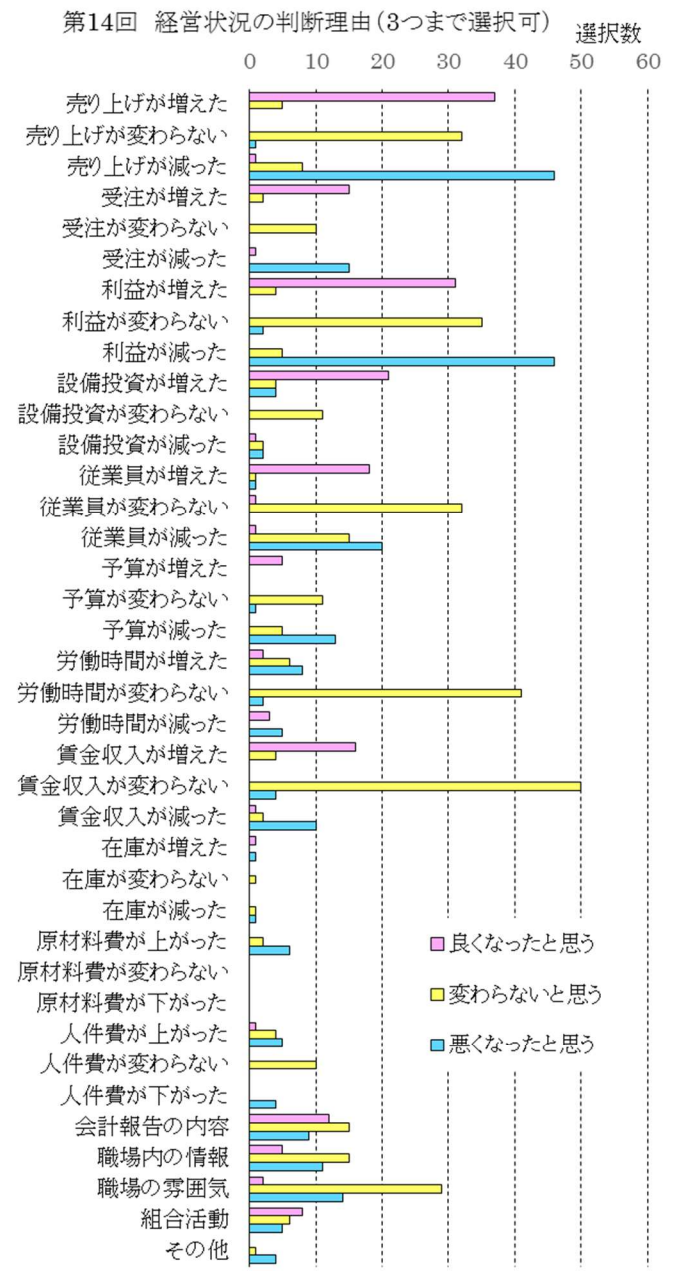
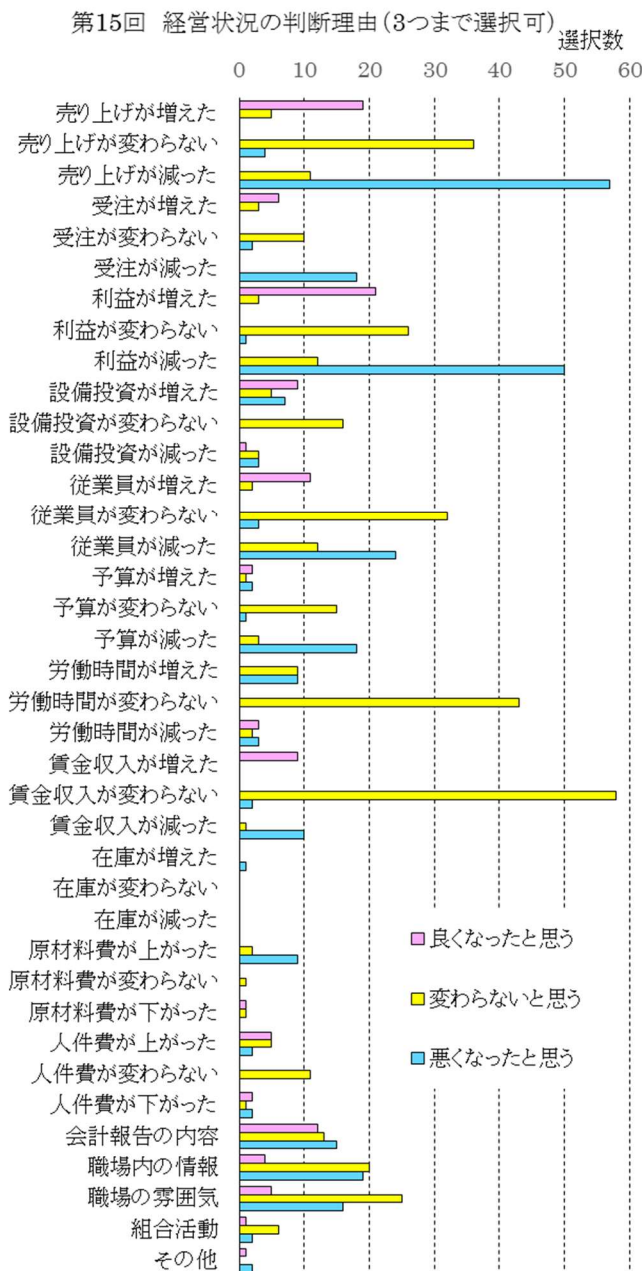
規模別(従業員数別)経営状況DI

「良くなったと思う(%)」-「悪くなったと思う(%)」



1-1. 勤め先の経営状況について、「良くなったと思う」理由、「悪くなったと思う」理由

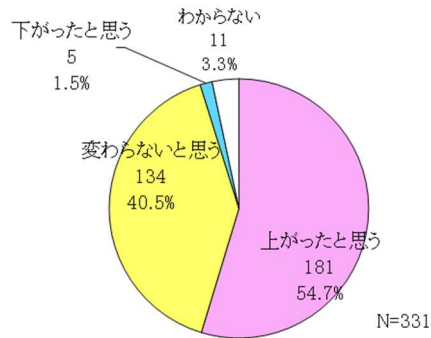
前回調査結果と比較して、「良くなったと思う」の回答数が減った中で（65→40）、「良くなったと思う」を選んだ理由として上位に来ていた「売上が増えた」「利益が増えた」「設備投資が増えた」の選択数が大きく減少した。一方、「悪くなったと思う」の回答数が増加し（90→104）、その理由として「売り上げが減った」「利益が減った」「従業員が減った」の選択数が増加した。



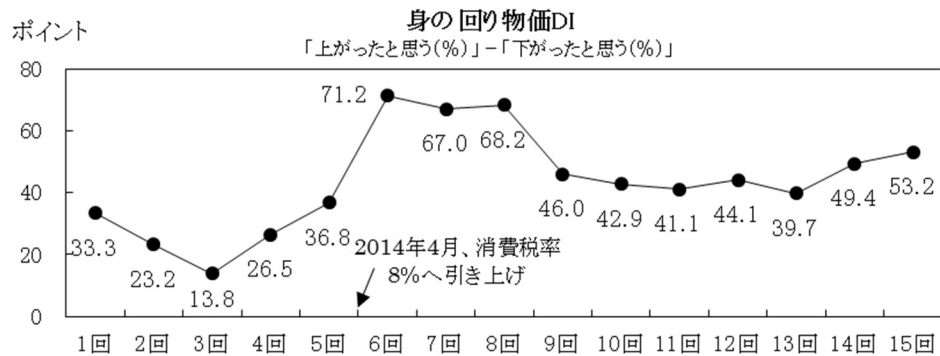
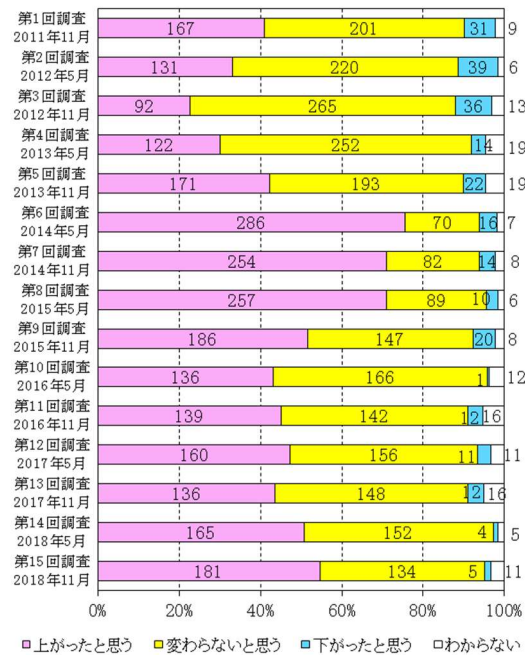
2. 物価

1年前と比べた「身の回りの物価」については、前回調査に続いて「上がったと思う」の割合が増加し、身の回り物価DIはやや上昇した（3.8ポイント上昇）。

問2 日常生活に関連した商品やサービスの価格
（1年前と比べて）



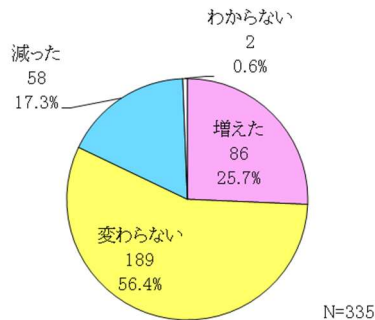
問2 日常生活に関連した商品やサービスの価格(1年前と比べて)



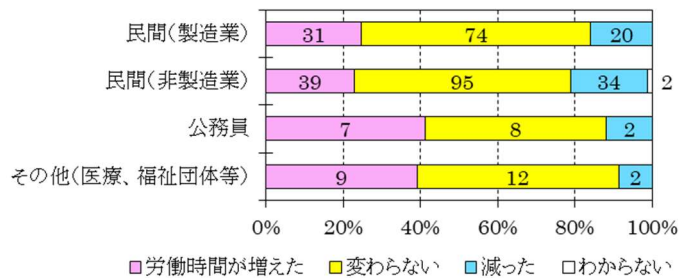
3. 実労働時間

最近の実労働時間は、前回調査と比較して、「増えた」の割合がやや増加した。その結果、労働時間DIはやや上昇した（3.8ポイント上昇）。業種別で見ると、製造業のDIが上昇した（6.0ポイント上昇）。

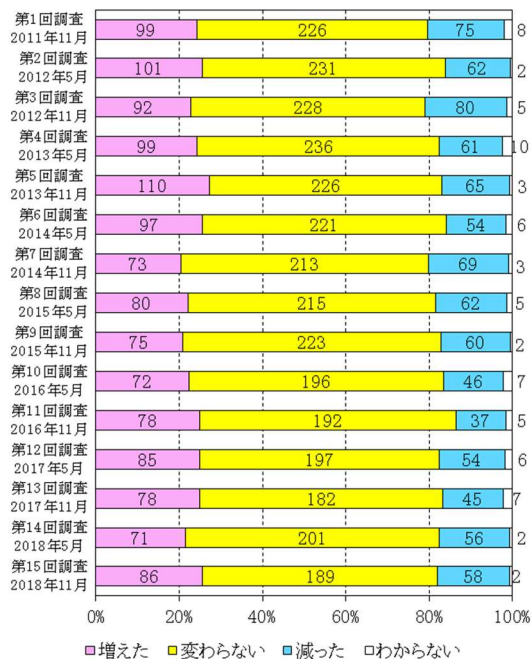
問3 最近の実労働時間(残業・休日出勤を含む)
(1年前と比べて)



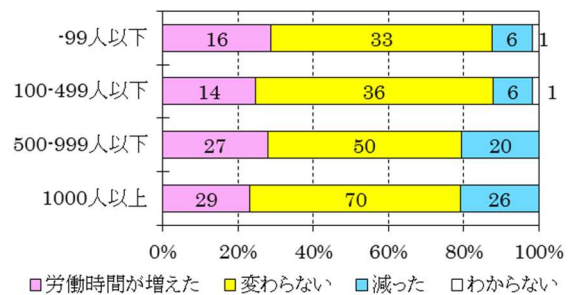
業種別にみた労働時間の変化(1年前と比べて)



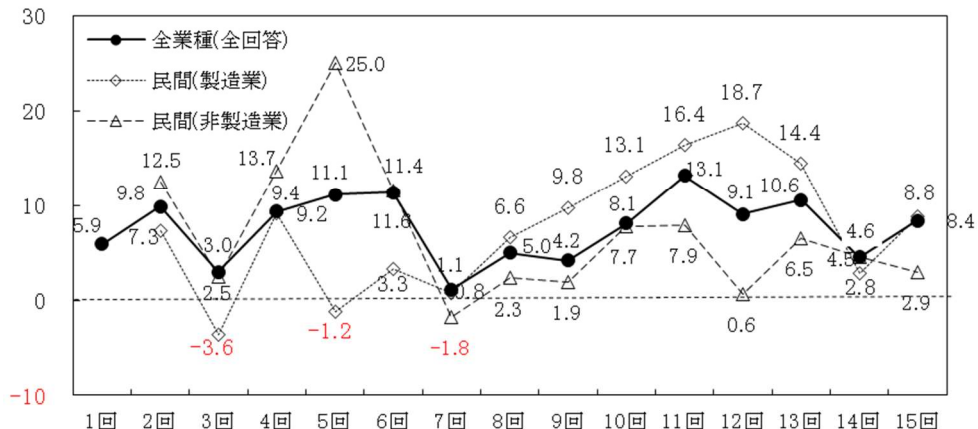
問3 最近の実労働時間
(全業種、残業・休日出勤を含む、1年前と比べて)



規模別(従業員数別)にみた労働時間の変化(1年前と比べて)



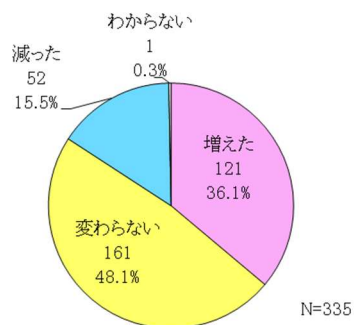
ポイント 業種別労働時間DI 「増えた(%)」-「減った(%)」



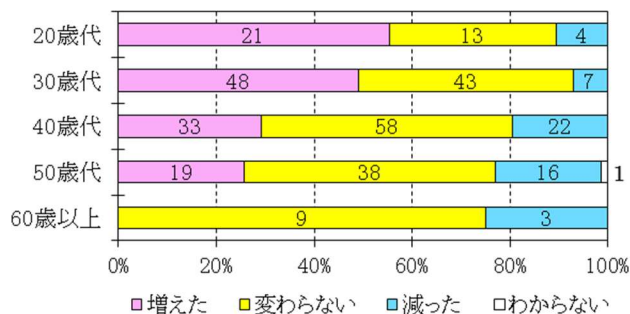
4. 賃金収入

1年前と比べて賃金収入は、前回調査と比較して、「増えた」の割合が減少し、「減った」の割合が増加した。その結果、全体で見た賃金収入DIはやや低下した（3.9ポイント低下）。業種別では製造業のDIが比較的高い値であるものの、大幅に下落した（10.2ポイント下落）。年齢別では年齢の低い層ほど「増えた」の割合が高く、年齢の高い層ほど「減った」割合が高い。

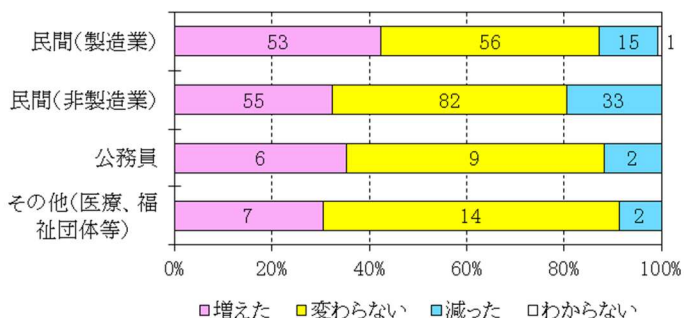
問4 あなたの賃金収入(1年前と比べて)



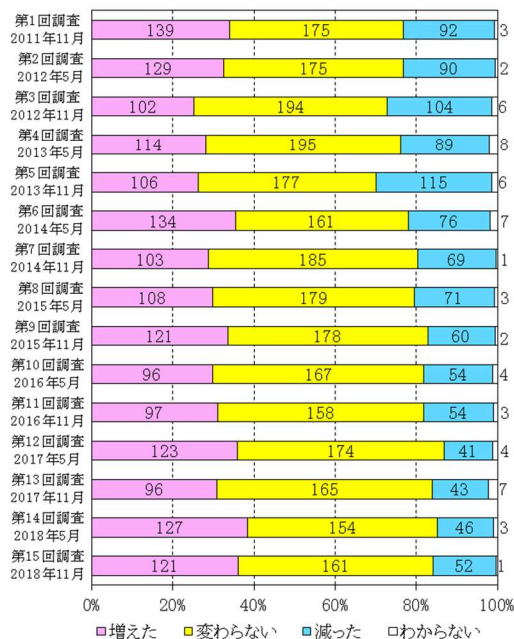
年齢別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



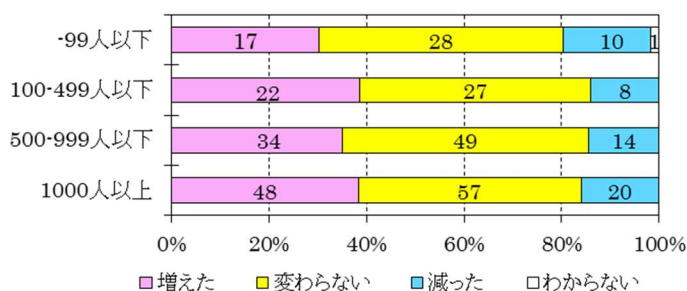
業種別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



問4 あなたの賃金収入(1年前と比べて)

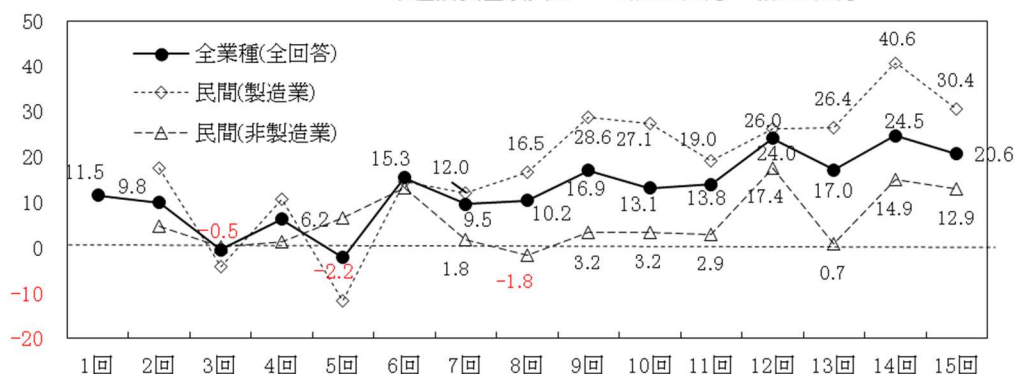


規模別(従業員数別に)みた賃金収入の変化(1年前と比べて)



ポイント

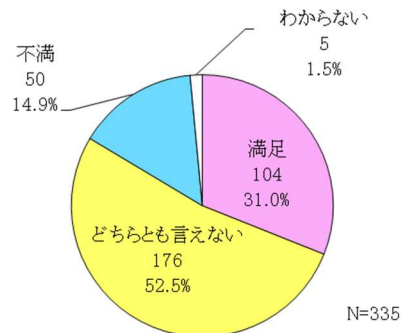
業種別賃金収入DI 「増えた(%)」-「減った(%)」



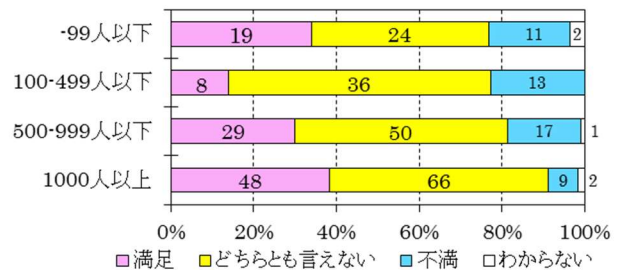
5. 勤め先の仕事の満足感

勤め先の仕事の満足感は、前回調査と比較して、各回答の割合にほぼ変化はなかった。その結果、仕事満足DIは横ばいとなった。年齢別で「30歳代」の仕事の満足感が高かった。また、前回の調査と同様に、年収別で「200～400万円未満」、規模別で「100～499人以下」の仕事の満足感が低かった。また、「勤め先の仕事の満足感」と、勤め先の「経営状況」「賃金収入の増減」との間に関連性が見られた。

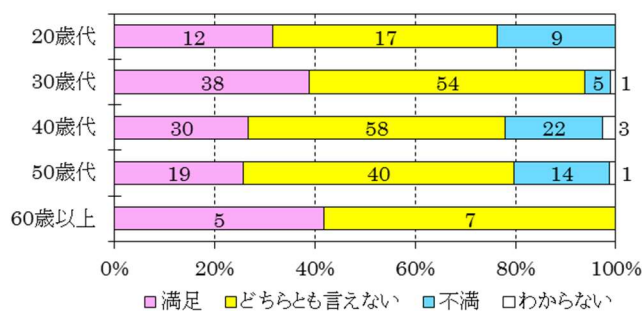
問5 仕事の満足感



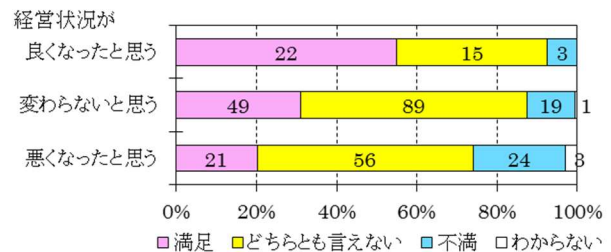
規模別（従業員数別）にみた仕事満足度



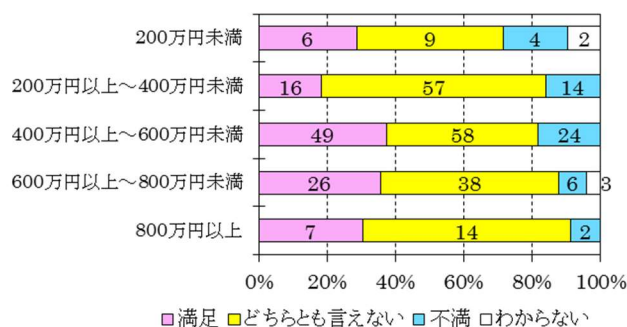
年齢別にみた仕事の満足感



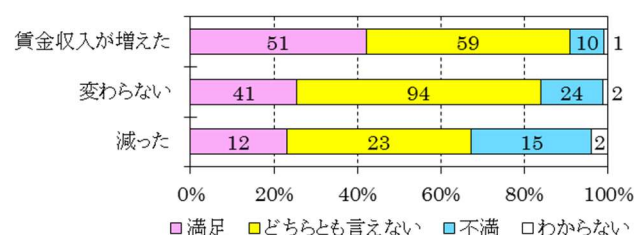
経営状況別にみた仕事の満足感



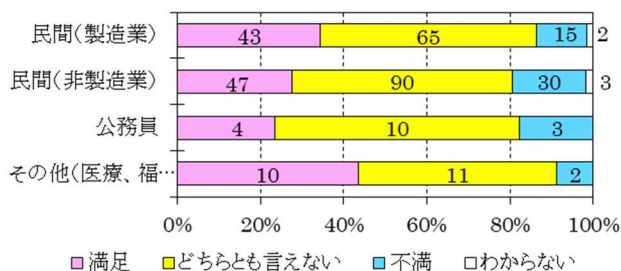
年収別にみた仕事の満足感



賃金収入の増減別にみた仕事の満足感

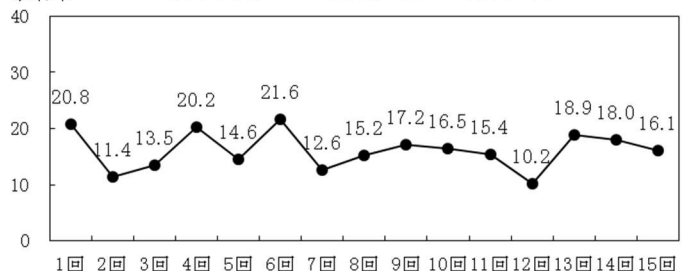


業種別にみた仕事の満足感



ポイント

仕事満足DI 「満足(%)」-「不満(%)」

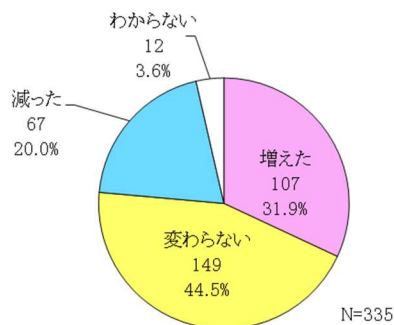


〈暮らし向きについて〉

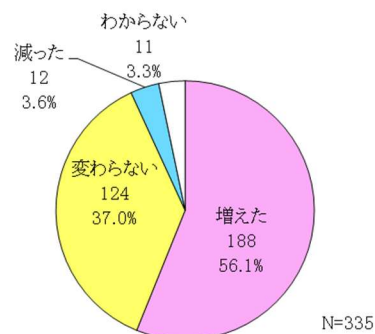
6. 世帯全体の収入、支出（問6、問7の結果）

世帯全体の収入は、前回調査と比較して、「増えた」「減った」の割合がともに増加し、その結果、世帯収入DIは僅かに低下した（2.0ポイント低下）。一方、世帯全体の支出は、「増えた」の割合が増加し、その結果、世帯支出DIは上昇した（5.6ポイント上昇）。

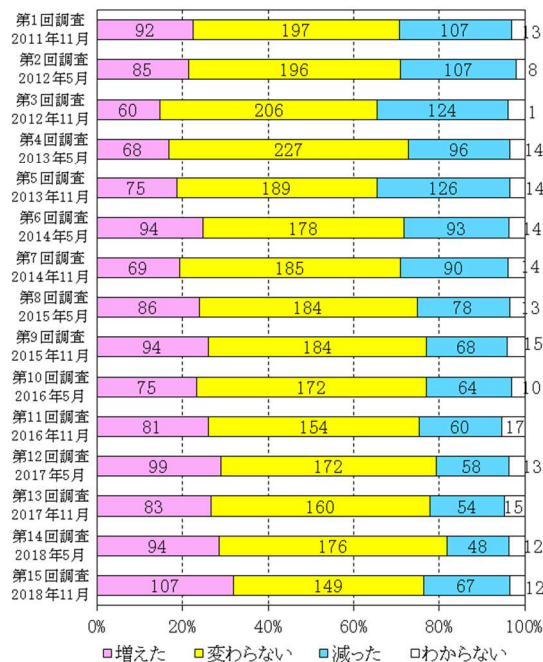
問6 世帯全体の収入(1年前と比べて)



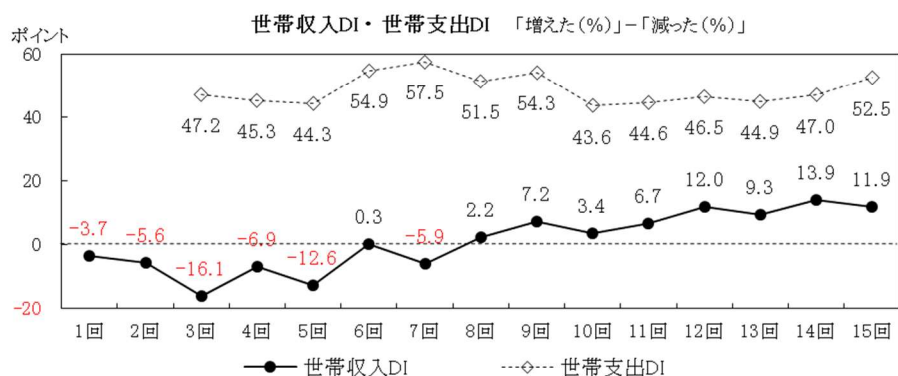
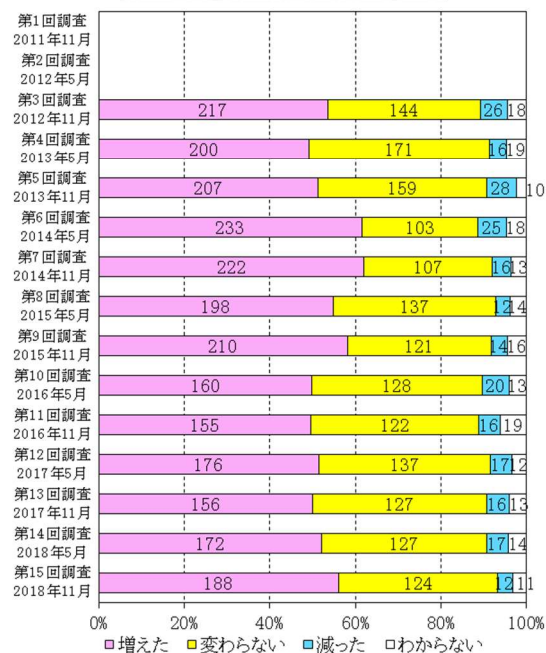
問7 世帯全体の支出(1年前と比べて)



問6 世帯全体の収入(1年前と比べて)



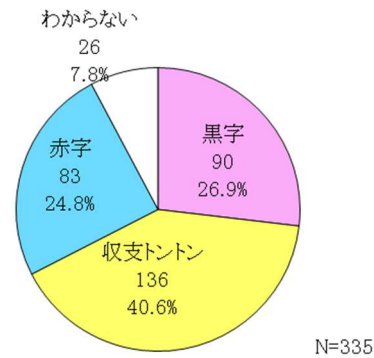
問7 世帯全体の支出(1年前と比べて)



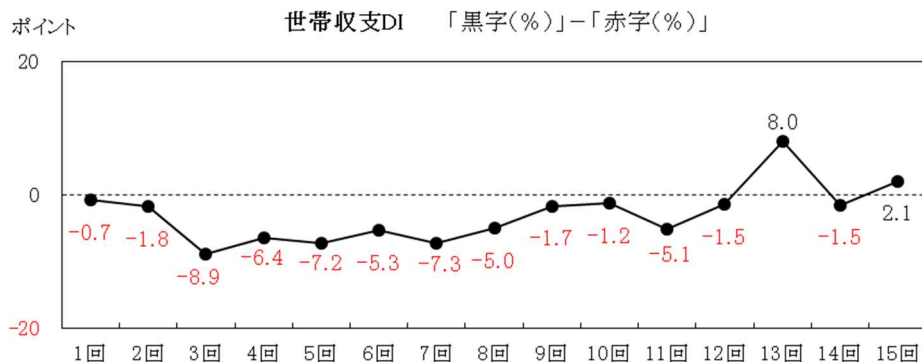
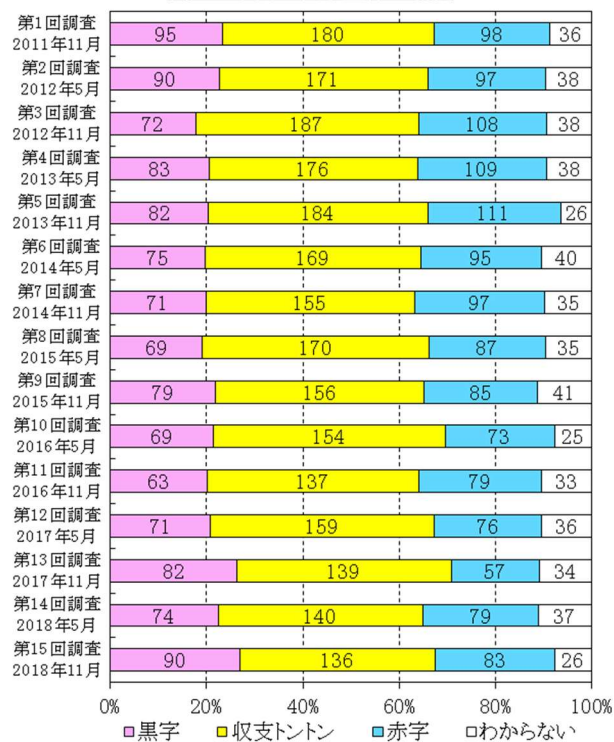
7. 世帯全体の収支

世帯全体の収支は、前回調査と比較して、「黒字」「赤字」の割合がともに増加した。その結果、世帯収支DIはやや上昇した（3.6ポイント上昇）。

問8 1年間の世帯全体の収支



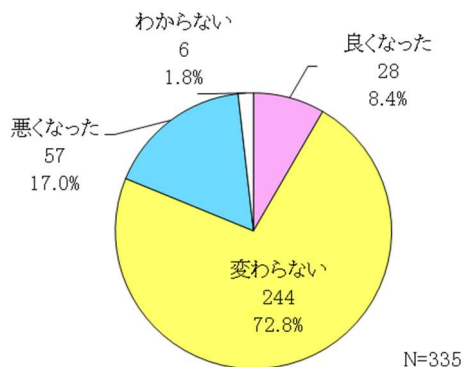
問8 1年間の世帯全体の収支



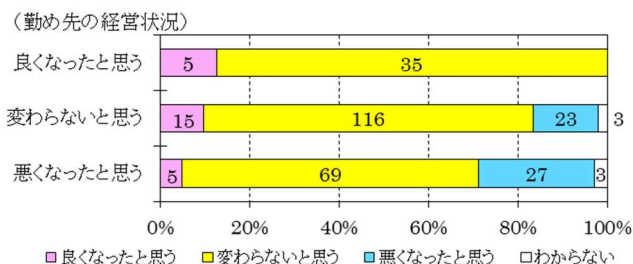
8. 世帯の暮らし向き

世帯の暮らし向きは、前回調査と比較して、「悪くなった」の割合が増加した。その結果、世帯の暮らし向きDIはやや低下した（3.8ポイント低下）。「世帯の暮らし向き」と、「勤め先の経営状況」、「世帯の年間収支状況」、「賃金収入の増減」との間に関連性が見られた。

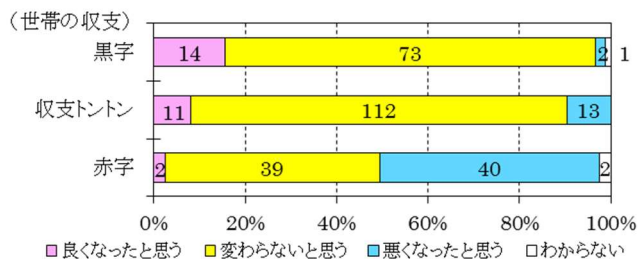
問9 世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



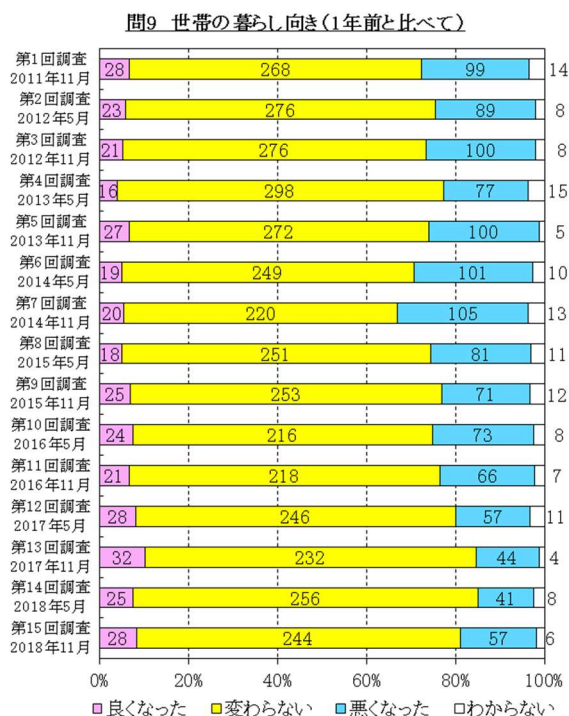
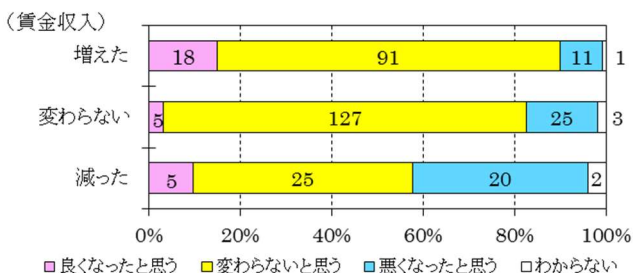
勤め先の経営状況別にみた世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



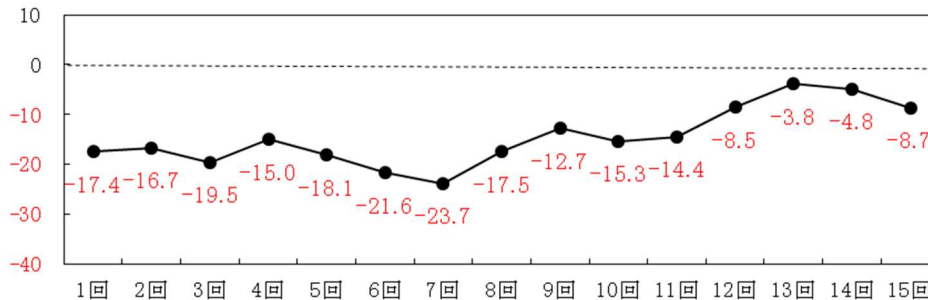
世帯の収支状況別にみた世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



賃金収入の増減別にみた世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



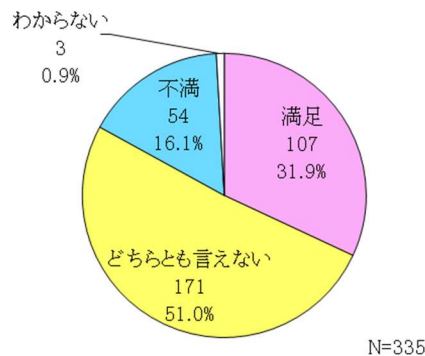
暮らし向きDI 「良くなった(%)」-「悪くなった(%)」



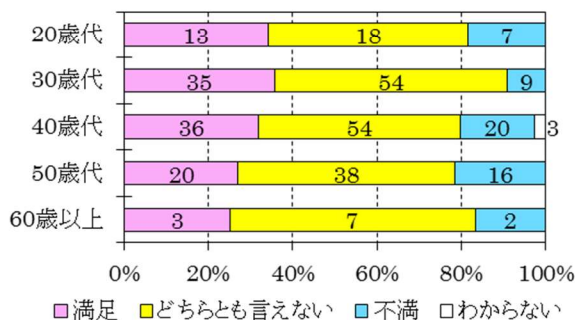
9. 生活の満足感

生活の満足感、前回調査と比較して、「満足」の割合が増加し、「不満」の割合が減少した。その結果、生活満足DIはやや上昇した（4.0ポイント増加）。これまでの調査結果と同様に、「生活の満足感」と、「年齢」「年収」「賃金収入の増減」「世帯収支」「仕事の満足感」「世帯の暮らし向き」との関連性が見られた。男女の差はあまり見られなかった。

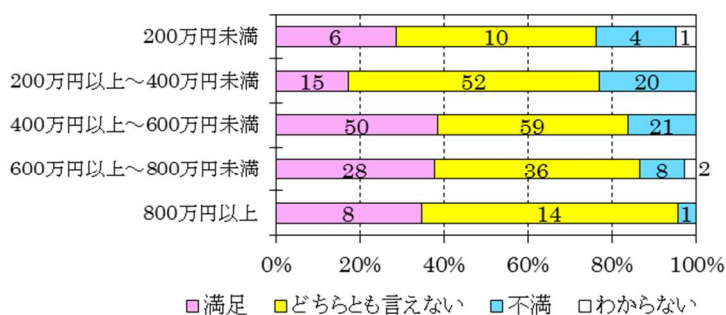
問10 生活の満足感



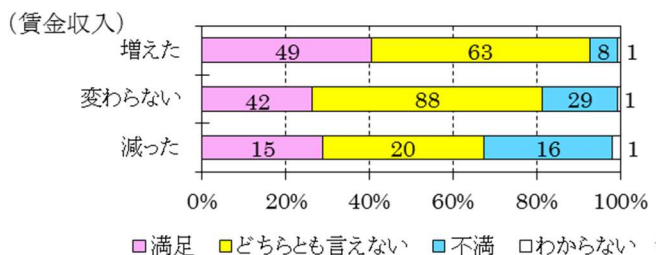
年齢別にみた生活の満足感



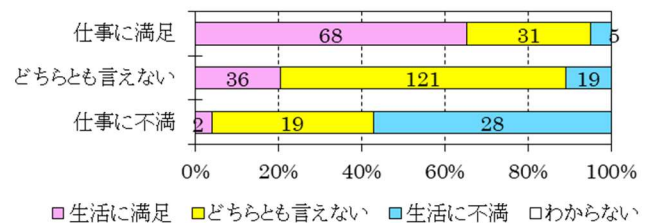
年収別にみた生活の満足感



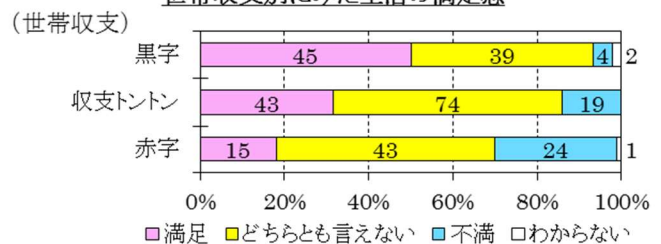
賃金収入の増減別にみた生活の満足感



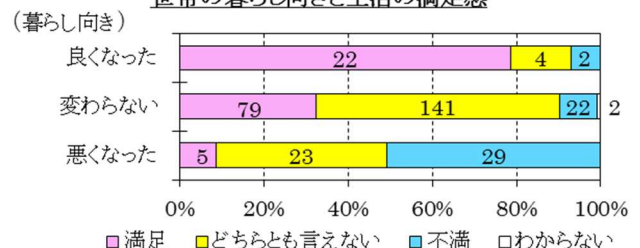
仕事の満足感と生活の満足感



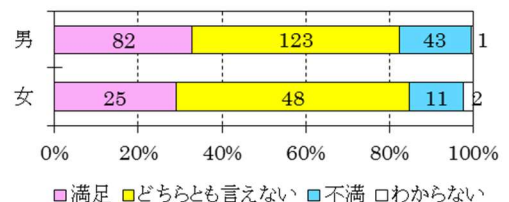
世帯収支別にみた生活の満足感



世帯の暮らし向きと生活の満足感



男女別にみた生活の満足感



ポイント

生活満足DI 「満足(%)」-「不満(%)」

